

【地域の概要】



【地域名】秋田県にかほ市

【関係市町村等】にかほ市

【関係機関】秋田県立大学ほか

【自然環境等】

本地域は、秋田県の南西部、鳥海山麓に位置している。市の総面積24,113haの内、森林は15,091ha、農地は3,720ha(R3水稲作付面積1,689.9ha)である。

標高2,236mの独立峰である鳥海山麓にある「鳥海山獅子ヶ鼻湿原植物群落及び新山溶岩流末端崖と湧水群」、また沿岸部の田園地帯に小さな島々が点在する「象潟(通称九十九島)」は、いずれも国の天然記念物に指定されている。環境省の重要湿地に指定されている湿地群も存在する。本地域は自然と調和した里地として鳥類の生息に適している。

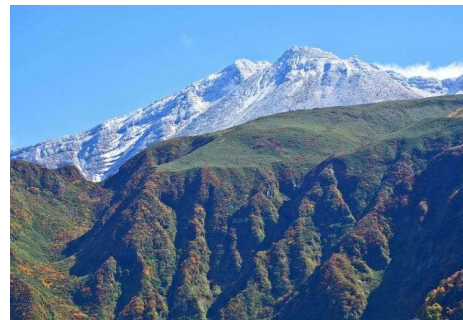


鳥海山麓の湿地群

【取組内容及び取組方針】

鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会や秋田県立大学、地域農業者等と連携しながらトキ里地環境の向上に取り組む。生息環境整備として、持続可能な農業生産とともに、抑草ロボットなどを用いた環境保全型スマート農業の可能性を探り、生物多様性の保全にも配慮する。

また、地域住民のトキや環境保全に対する理解を醸成するため、環境保全講座の開催や広報などにより周知を促す。



鳥海山とにかほ市の景観

【取組を通じて目指す地域の姿】

トキとの共生を目指す里地づくりへの取り組みを通して、環境に配慮した農業生産を広め、生物多様性を保全し、トキの採餌場となり得る環境保全への住民意識を向上することにより、持続可能な農業と多様な生物が共存する地域社会の実現を目指す。



山間部の棚田



休耕田を利用したドジョウの自然養殖場